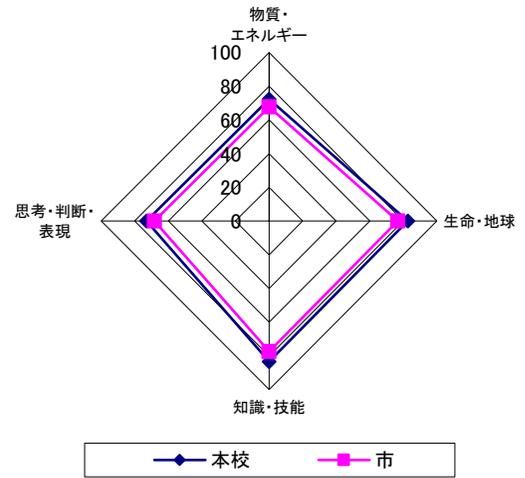


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	72.3	67.8	64.1
	生命・地球	82.6	76.7	78.3
観点別	知識・技能	83.3	77.4	78.3
	思考・判断・表現	73.0	68.3	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○校内正答率は72.3%で、市の平均を4.5ポイント上回った。 ●「ろうそくが最も長く燃え続けるものを推測できる」を問う設問では、校内正答率84.0%で、市の平均を4.8ポイント下回った。 ○「電磁石を強くする方法を理解している」を問う設問では、校内正答率91.4%で、市の平均を14.1ポイント上回った。	実験の際に、児童一人一人に予想させ、なぜそのように予想したのかを考えさせることで、思考の過程を大切にしていこうとする。また、変える条件と変えない条件に着目して実験を計画したり、結果を的確に処理して考察したりする活動を大切に、科学的な思考力や表現力の定着を図っていく。教科書の確かめ問題やまとめの部分などを活用し、既習内容を確認することで定着を図っていく。
生命・地球	○校内正答率は82.6%で、市の平均を5.9ポイント上回った。 ●「食べ物はおもに小腸で吸収され、かん臓にたくわえられることを理解している」を問う設問では、校内正答率は66.7%で、市の正答率を2.7ポイント下回った。 ○「春ごろの日本付近の天気の変わり方を理解している」を問う設問では、校内正答率74.1%で、市の正答率を20.9ポイント上回った。	実験のデータの取り方や処理の仕方について十分に指導するとともに、実験結果や観察記録などのデータと現象とを関係付けて考察する活動を、十分に行っていく。「動物のからだのつくりとはたらき」では、学習した臓器のはたらきを言葉で整理するだけでなく、大きさ、形、位置を体の模式図にまとめるように指導していく。授業を進める中で、「なぜ」「どうして」と疑問をもつ機会を増やしていくようにする。